

各高等学校長 様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長 三 田 章 徳
(岩手県立福岡工業高等学校長)

第 37 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 32 回岩手県高等学校放送新人大会の開催について(ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり標記大会を開催いたしますので、貴校 放送(視聴覚)部(委員会)等の大会参加についてご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 26 年 11 月 4 日(火) 14:00～17:00
平成 26 年 11 月 5 日(水) 9:00～16:50
ただしエントリー状況によっては 11 月 5 日(水)一日開催とします。
- 2 会場 岩手県民会館 中ホール他 〒020-0023 盛岡市内丸 13-1 電話 019-624-1171
- 3 要項等 別紙のとおり。エントリー締切は 10 月 16 日(木)正午。
参加申込書・各種様式等は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

- 4 その他 東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。
被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任します。

大会事務局

岩手県高文連放送専門部事務局

岩手県立盛岡第四高等学校 澤瀬政則

〒020-0835 岩手県盛岡市津志田 26-17-1

Fax.019-636-0797 ptf1-masnori-sawase@iwate-ed.jp

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

第 37 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 32 回岩手県高等学校放送新人大会 開催要項

1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して 校内放送をとおし番組の制作技術の向上，表現力，創造性の開発および，豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は，岩手県高等学校総合文化祭の一環，ならびに東北高等学校放送コンテストおよび全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

6. 日時

平成 26 年 11 月 4 日(火) 14:00～17:00

平成 26 年 11 月 5 日(水) 9:00～16:50

エントリー状況によっては11/5の一日開催とすることがある。詳細は後日参加校に送付する実施要項による。

7. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

8. 開催部門とエントリー数

(1)アナウンス部門 各校 6 名以内

(2)朗読部門 各校 6 名以内

(3)オーディオピクチャー部門 各校 2 本以内

(4)ビデオメッセージ部門 各校 2 本以内

(5)ラジオキャンペーン部門 各校 2 本以内

(6)テレビキャンペーン部門 各校 2 本以内

9. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

10. 表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

入選 6 賞状...東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国総文祭推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優良賞 2 賞状

全国総文祭推薦は，オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

いずれの部門も，エントリー数によって表彰数を変更することがある。

11. 各種規定

制作・審査規定，各種様式等は別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。

12. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。

エントリー後の変更は認めない。

13. その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別，入賞者の成績)については，大会の実施，主催者に関連する記録物(印刷媒体，ウェブサイト，放送等)，大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については、著作隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

| | 内容・方法 | 締切 |
|--------------|--|-------------------|
| エントリー 手続き | 参加申込書...メールで事務局に送付する。様式は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: housou.iwate@gmail.com | 10月16日(木) 正午必着 |
| | 参加料...各部門とも1エントリーにつき、1,200円。次の口座に学校名で振込むこと。 岩手(いわて)銀行 上田(うえた)支店 普通 2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長 三田章徳(みたあきのり) 振込手数料は各校負担、参加料の領収書は銀行発行のものとする。 なお、東日本大震災の被災地・被災者の参加料は無料とします。被災地・被災者の判断は、各校の校長に一任します。 | |
| 提出物 | 全部門の原稿/番組進行表各3部、オーディオピクチャー部門のCDとCD-ROM、ビデオメッセージ部門とテレビキャンペーン部門のDVD、ラジオキャンペーン部門のCD...事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。様式は、制作・審査規定を参照し、放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。エントリー番号は、後日発表される実施要項によること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: 〒020-0835 盛岡市津志田 26-17-1 岩手県立盛岡第四高校内 高文連放送専門部事務局 澤瀬政則 バックアップCD/DVDは当日代表生徒が持つこと。 | 11月4日(火) 正午必着 |

上位大会等は次のとおり。以下に参加できない場合は新人大会にエントリーしないこと。

- ・第39回全国高等学校総合文化祭放送部門 平成27年7月31日(金)～8月1日(土) 滋賀県栗東市
- ・第18回東北高等学校放送コンテスト 平成27年2月7日(土)～8日(日) 山形県山形市
- ・アナウンス朗読講習会 平成26年12月23日(火) 岩手県民会館 アナ朗の東北大会進出者対象
- ・番組講習会 平成26年11月23日(日) 岩手県民会館 番組の東北大会進出校対象

理事ならびに引率顧問の皆様には、運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には、当日の昼食を準備いたします。

実施要項(エントリー番号、係分担、日程の詳細等)は、エントリー確定後、連絡いたします。

第 32 回岩手県高等学校放送新人大会 制作・審査規定 (2014 年 10 月 1 日改訂)

1. アナウンス部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。

ア 第 62 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト：自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限る。

イ 第 39 回全国高等学校総合文化祭(滋賀大会)：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお、新人大会と東北大会では、静止画は使用できない(全国総文祭では静止画 5 枚以内を投影できる)。

(2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし、それらを含め、1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内。

(3)原稿様式 放送専門部のサイトから「原稿/番組進行表様式」をダウンロードし、その指示のとおり作成する。エントリー後の変更は認めない。

ア 表紙は様式 1-1、2 ページは様式 1-2、3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア 内容

- (a)素材の選び方は適当であるか
- (b)文章表現は適当であるか

イ アナウンスの技術

- (a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか
 - ・発声・発音・マイクの使い方
- (b)正しく伝える抑揚表現ができているか
 - ・内容把握・イントネーション・言葉の立て方(プロミネンス)・アクセント
- (c)間(ポーズ)は適切か
 - ・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は、概ね 30 名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位計 12 名を決勝に推薦する。

2. 朗読部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア 第 62 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの指定候補作品の中から 1 編を選び、自己の表現したい部分を抽出して朗読する。収録作品のいずれも可。

「山椒魚」井伏鱒二(新潮文庫)

「少年記」外山滋比古(中公文庫)

「図書館の神様」瀬尾まいこ(ちくま文庫)

「若草物語」L.M. オルコット著、吉田勝江訳(角川文庫、指定された訳者のみ)

「伊勢物語」(現代語訳不可、出版社不問)

イ 第 39 回全国高等学校総合文化祭(滋賀大会)の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお、BGM は使用できない(全国総文祭では効果音や BGM を併用できる)。

(2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、氏名(学校名を読まない)、著者名(訳者名は読まない)、書名(ア とは短編名)を読むこととし、それらを含め、1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内。

(3)原稿様式 放送専門部のサイトから「原稿/番組進行表様式」をダウンロードし、その指示のとおり作成する。エントリー後の変更は認めない。

ア 表紙は様式 1-1、2 ページは様式 1-2、3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで 3 部作成する。

ウ 短編集を選択した場合は、作品名の欄に短編名を記入する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア 内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ 朗読の技術

(a)内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができていないか

・内容把握・イントネーション・言葉の立て方(プロミネンス)・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は概ね30名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位計12名を決勝に推薦する。

3. オーディオピクチャー部門

(1)内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。CDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー、ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間 5分以内

(3)音声制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-DA形式で作成したCDを提出する。バックアップとして同じ内容を録音したCDを大会当日持参すること。

イ CDとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の最後に「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ クレジットコールを含め、1つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールにはBGMや効果音をつけないこと。

キ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」の「た」の音までとする。

(4)静止画制作様式 次のア～オにより制作する。

ア CD-ROMに使用順の数字を付したJPEGファイルを納める(例:001.jpg 002.jpg …)。

イ CD-ROMとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 静止画像は25画像以内、総容量100MB以内、サイズはWXGA(1366×768ピクセル)またはXGA(1024×768ピクセル)のいずれかで統一すること。

エ 静止画はパソコンからビデオプロジェクタ1台で投影する。パソコンの操作は、発表校が行う。

オ 静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows Picture and FAX Viewer (Windows7以降ではWindowsフォトビューアーと読み替える)

動作OS: Windows7/XP/Vista

使用方法

・CD-ROMのフォルダを開く

・1枚目の画像を右クリック 「プログラムから開く」 「Windows Picture and FAX Viewer」

・1枚目の画像表示後「F11」キーを押す

・画面右上の「一時停止」マークを押す

・カーソルを画面外に動かして表示されないようにする

・「 」または「Enter」キーで次の画像に切り替える

・終了時には「Esc」キーを押す

・Windows8～Vista以外のOSの場合はSusieによること(www.digitalpad.co.jp/takechin/)

(5)番組進行表様式 放送専門部のサイトから「原稿/番組進行表様式」をダウンロードし、その指示のとおり作成する。エントリー後の変更は認めない。

ア タイトルの文字は、JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ 表紙は様式2-1 2ページ以降は様式2-2によるCUEシート、以下様式2-3 使用著作権物一覧、様式2-4 音源使用許諾諸とする。他の著作物を使用していない場合は、いずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRACの明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

エ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所綴じとし、3 部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術
 - ・録音・撮影の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

4. ビデオメッセージ部門

(1) 内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

(2) 規定時間 5 分以内

(3) 制作様式 次のア～カにより制作する。

ア DVD-Video 形式で作成した DVD を提出する。NTSC 規格 4:3 または 16:9 のいずれか。バックアップ用として同じ内容を録画した DVD を大会当日持参すること。なお、全国総文祭では BD-R で提出することができる。

イ DVD とケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 音声の再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 5 秒間ずつ、様式 3 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(4) 番組進行表様式 放送専門部のサイトから「原稿/

番組進行表様式」をダウンロードし、その指示のとおり作成する。エントリー後の変更は認めない。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1 2 ページ以降は様式 2-2 による CUE シート、以下様式 2-3 使用著作権物一覧、様式 2-4 音源使用許諾諸とする。他の著作物を使用していない場合は、いずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

エ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所綴じとし、3 部作成する。

(5) 審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術
 - ・撮影・録音の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

5. ラジオキャンペーン部門

(1) 内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認め

ない。

(2)キーワード 「時(とき)」

(3)規定時間 30 秒以上 1 分以内

(4)制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-DA形式で作成したCDを提出する。バックアップとして同じ内容を録音したCDを大会当日持参すること。

イ CD とケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、ステレオで行う。なお、東北大会ではモノラル(L+R)で再生する。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち、3 秒後に本編を開始する。

カ 本編の最後の音から 3 秒後に「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ 前後のクレジットコールを含め、1 つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

ク 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジットコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし、その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

(5)番組進行表様式 放送専門部のサイトから「原稿/番組進行表様式」をダウンロードし、その指示のとおり作成する。エントリー後の変更は認めない。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1 2 ページ以降は様式 2-2 による CUE シート、以下様式 2-3 使用著作権物一覧、様式 2-4 音源使用許諾諸とする。他の著作物を使用していない場合は、いずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付す

る。

エ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所綴じとし、3 部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6. テレビキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード 「時(とき)」

(3)規定時間 30 秒以上 1 分以内

(4)制作様式 次のア～カにより制作する。

ア DVD-Video形式で作成したDVDを提出する。NTSC規格 4:3 または 16:9 のいずれか。バックアップ用として同じ内容を録画したDVDを大会当日持参すること。

イ DVD とケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 音声の再生は、ステレオで行う。なお、東北大

会ではモノラル(L+R)で再生する。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 5 秒間ずつ、様式 3 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)番組進行表様式 放送専門部のサイトから「原稿/番組進行表様式」をダウンロードし、その指示のとおり作成する。エントリー後の変更は認めない。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1 2 ページ以降は様式 2-2 による CUE シート、以下様式 2-3 使用著作権物一覧、様式 2-4 音源使用許諾諸とする。他の著作物を使用していない場合は、いずれも「なし」と記載する。

ウ 他の著作物を使用した場合は、JASRAC の明細書、著作権フリー音源であることを示すレーベル等のコピー、その他使用したすべての著作物について使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

エ 番組進行表の大きさは A4 縦判・左上 1 カ所綴じとし、3 部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

7. 審査員(全部門共通)

原則として、専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8. 採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき、100 点法、1 点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20 30 40 50 60 70 80 90 100

悪い 普通 良い 大変良い

(3)各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4)各審査員は、すべての発表ごとに、講評を記載する。

9. 得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

審査員の最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例

合計点が同じ場合は、カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は、部門ごとの審査主査と専門職審査員による審査会で行う。ただし、予選については、審査主査に一任する。

10. アナウンス部門・朗読部門決勝

(1)決勝進出者は決勝審査直前に中ホールで発表する。

(2)決勝のエントリー順は、無作為に指定する。

(3)決勝審査では、予選の得点を参考にしない。

11. 規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は±2 秒、番組 4 部門は±1 秒とする。

(3)アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り、失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙は、各校に配付する。

(2)CD/DVD 等は、該当校に返却する。

(3)審査結果一覧は、顧問に配付する。